

北京日本学研究中心



《 第 26 27 号 》

责任编辑：市澂智纪 张龙妹 邮政编码：100081 Tel：8424893 1993.3.18

92~93学年第二学期 新学期开始

3月1日，北京日本学研究中心新的一个学期开始了。本学期除了上学期继续留任的5位专家外，另有10名专家来“中心”任教（名单参照公开讲座日程）。招聘了一名客座教授（刘耀武 黑龙江大学），除了上学期留任的4名（徐冰、郭庆光、唐磊、孔繁志）外，新招聘了6名客座研究员（名单参照下页）。

简 讯

- ◇3月3日上午8:00“中心”在电教室召开了师生见面会，池田温主任教授和李书成代理主任分别介绍了中日双方的教职员以及客座教授、客座研究员。
- ◇3月5日下午4:00日本大使馆小熊旭先生陪同外务省本部及驻中国各领事馆的官员来“中心”参观。在听取了有关“中心”情况的介绍后，参观了阅览室等设施。
- ◇3月10日上午9:00在“中心”接待室召开了92至93学年第二学期实施委员会，实施委员会成员及有关人员出席。会议首先听取了上学期的工作汇报及本学期的工作计划。接着通报了上学期进行的教学、科研、毕业生跟踪调查的调查结果，最后讨论了招生工作的有关问题。
- ◇3月12日下午2:00在“中心”接待室召开了语言研究室成立大会，会议确定了定期举办研究会、不定期举办讲座以及基本建设等的研究室工作计划。

93年春期 ◆ 专题学术讲座日程 ◆

次数	题 目	主讲人	时 间
1	儒学与佛学初传日本的比较	王家骅教授	1993.3.5 /14:00
2	早期日本儒学及其特征	王家骅教授	1993.3.19 /14:00
3	鎌仓室町时代的日本儒学	王家骅教授	1993.4.2 /14:00
4	中日朱子学的比较	王家骅教授	1993.4.16 /14:00
5	论日语接词	刘耀武教授	1993.4.30 /14:00
6	西方文化对日本的影响	周维宏讲师	1993.5.7 /14:30
7	建国以来的中国日本学研究	李书成教授	1993.5.21 /14:30
8	晚清民间文学	程 毅教授	1993.6.4 /14:30
9	中日语言对比研究	张 志教授	1993.6.18 /14:30
10	古代中日文学交流	严绍 慈教授	(机动)

海 “中心”将于3月26日（星期五）下午2:00在电教室举行第二次客座研究员研究成果发表会。内容为博士生袁方的「涩泽荣一的经济伦理思想研究」、报 周维宏讲师的「日本东北地区战后农村工业化初探」。

□新任专家 自我介绍(其一)□

- ☆神野藤昭夫先生：谨严耿直、人格高洁、沉默寡言得连一句玩笑话都不会说。当我如此形容自己时，同行的老师们只是笑而不答。为此我暗暗地苦恼了好一阵。我便是这么个感觉细腻的人物。
- ☆小林贤次先生：主攻日语史、尤其是语法史。这次是一个很好的机会，希望能够通过与研究生、进修生们的交流，吸取中华精神的精华。
- ☆日笠完治先生：一个追求和善的心、灵活的大脑、坚强的意志、健壮的身体相统一的永远未成熟的青年(?)。若能在向未知世界的挑战中持续这种追求那就太幸福了。
- ☆松本鹤雄先生：「四肢发达、头脑简单」的典型代表。前不久“中心”的研究生问我是不是“混血儿”，为此感到了一种莫名其妙的打击。也有婉转地表达出来的细腻感觉。爱喝绍兴酒。明白?
- ☆佐佐木史郎先生：寒冷的地方，那怕是零下40度都能怡然自得，而一旦超过了20度就没有了活动能力的驯鹿似的人类学者。

1992~93年第二学期 < 公开讲座 日程 >

日期	讲师姓名	单 位	题 目	派遣时间
4月1日	市 濑 智 纪	国际交流基金 日语教育专家	初级句型—— 导入、练习时的问题	留 任
4月8日	饭野 清士	国际交流基金 日语教育专家	关于统合性接触	留 任
4月15日	小林 贤次	东京都立大学教授	日语条件表现的变迁	3/8 ~6/12
4月22日	石井 久雄	国立国语研究所室长	虚构的语言	3/19~6/18
4月29日	上垣外完一	国际日本文化研究 中心副教授	作为日中桥梁的 朝鲜半岛	2/25~7/14
5月6日	松本 鹤雄	群馬县立女子大学 教授	小说与私小说	2/26~7/15
5月13日	神野藤昭夫	迹见学园女子大学 教授	作为文学史采阅读的 百人一首	2/26~7/15
5月27日	日笠 完治	杏林大学副教授	日本国宪法的基本原理	3/2 ~7/15
6月3日	佐佐木史郎	大阪大学副教授	绢和毛皮—— 山丹贸易的真实情况	3/11~
6月10日	尾藤 正英	川村学园女子大学 教授	从思想来看 日本和中国的比较	3/28~7/15
6月17日	加藤 晴子	东京外国语大学等 非专职讲师	汉语的主语	3/15~

北京日本学研究中心 9 3 年客座研究员名单

姓 名	职 称	任 期	研 究 方 向	原 工 作 单 位
朱京伟	讲 师	93.2--93.7	中日语言	北京外国语学院日语系
徐晓光	讲 师	93.2--93.7	日本文化	西南政法学院
李均洋	副 教 授	93.2--93.7	日本文学	西北大学中文系
王克非	副 教 授	93.2--93.7	翻译文化史	北京外国语学院语言所
姚灯镇	讲 师	93.2--93.7	日本语言	洛阳外国语学院
李晓东	助 教	93.2--93.7	日本文化	北京国际关系学院

92～93学年 第2学期 新学其月 開始

3月1日、北京日本学研究中心の新学期が始まった。本学は先学期から継続して留任される5名の専家の他に、10名の専家が本センターで教鞭を取られることになった（名簿は公開講座の日程を参照）。また客員教授（劉耀武先生 黒龍江大学）1名を招聘し、先学期から留任の4名（徐冰、郭慶光、唐磊、孔繁志）の客員研究員の他に、新たに6名の客員研究員が招聘された（下頁参照）。

〔ニュース〕

- ◇3月3日午前8:00 本センターの電教室において教師と学生の対面式が行われた。池田温主任教授と李書成主任教授代理からそれぞれ日中双方の教職員と客員教授、客員研究員の紹介がなされた。
- ◇3月5日午後4:00 日本大使館小熊旭先生と外務省本部及び駐中国各領事館の館員が本センターを訪問され、センターの状況についての紹介を受けたのち、閲覧室等の施設を参観された。
- ◇3月10日午前9:00 本センターの接待室において92～93年第2学期の実施委員会が開かれ、実施委員会のメンバー及び関係者が出席した。会議ではまず先学期の業務報告と今学期の業務計画が討議された。また引き続いて、先学期行われた教育、学術研究、卒業生の追跡調査などの調査結果が報告され、最後に学生募集に関する問題が討議された。
- ◇3月12日午後2:00 本センターの接待室において語学研究室成立大会が開かれた。定期的な研究会の開催や、不定期的な講座の設置、新規事業への取り組みなどの研究室活動の計画が、この会議において確定した。

1993年・春学期 ◆ 専題学術講座日程 ◆

回数	題 目	講 演 者	日 時
1	儒学と仏教の日本初伝についての比較	王家驊教授	1993.3. 5 / 14:00
2	早期の日本儒学及びその特性	王家驊教授	1993.3.19 / 14:00
3	鎌倉室町時代の日本の儒学	王家驊教授	1993.4. 2 / 14:00
4	中日朱子学の比較	王家驊教授	1993.4.16 / 14:00
5	日本語の接続詞を論ずる	劉耀武教授	1993.4.30 / 14:00
6	西洋文化の日本への影響	周維宏講師	1993.5. 7 / 14:30
7	建国以来の中国の日本学研究	李書成教授	1993.5.21 / 14:30
8	晩清の民間文学	程 歙教授	1993.6. 4 / 14:30
9	中日言語の対照研究	張 志教授	1993.6.18 / 14:30
10	古代中日文学の交流	嚴紹溥教授	(保 留)

北京日本学研究中心 93年客員研究員名簿

(氏名) (職名) (任期) (研究テーマ) (旧所属機関)

朱京偉	講 師	93.2 -- 93.7	中日言語	北京外国語学院日語系
徐曉光	講 師	93.2 -- 93.7	日本文化	西南政法学院
李均洋	助教授	93.2 -- 93.7	日本文学	西北大学中文系
王克非	助教授	93.2 -- 93.7	翻訳文化史	北京外国語学院言語研
砥灯鎮	講 師	93.2 -- 93.7	日本語	洛陽外国語学院
李曉東	助 教	93.2 -- 93.7	日本文化	北京国際関係学院

□新任専門家 自己紹介 (その1) □

- ☆神野藤昭夫先生：仲間の先生がたに謹厳実直、人格高潔、シャレひとつ言えない寡黙な人柄ですよ
ねと同意を求めて笑われ、ひそかに悩んでいるセンセイな、いやセンサイな人物です。
- ☆小林 賢次先生：日本語の歴史、主として文法史を専攻しています。今回よい機会ですので、院生
研修生の皆さんとの交流を通じて、中国パワーのエキスを吸収したいと思います。
- ☆日笠 完治先生：優しい心、柔らかい頭、強い精神、健やかな身体の統一を志向する永遠に未完な
青年(?)です。未知への挑戦を楽しみながら持続できれば仕合わせです。
- ☆松本 鶴雄先生：身長ばかりあって「大男総身に知恵のまわりかね」の代表的サンプル。この間セ
ンターの院生にアイノコデスカと聞かれ妙なショックを感じる。屈折した繊細さもある、紹興酒
男。ワカルカナ。
- ☆佐々木史郎先生：寒いところなら、マイナス40度の世界でも平気ですが、20度を越えると途端
に活動力を失う、トナカイみたいな人類学者です。

1993年・春学期 <公開講座 日程>

(回数) (期日) (講師氏名) (所 属) (題 目) (派遣期間)

第1回	4月1日	市瀬 智紀	国際交流基金 日本語教育専門家	初級文型 導入・練習時の問題点	継 続
第2回	4月8日	飯野 清士	国際交流基金 日本語教育専門家	統合的アプローチにつ いて	継 続
第3回	4月15日	小林 賢次	東京都立大学 人文学部教授	日本語条件表現の変遷	3/8~6/12
第4回	4月22日	石井 久雄	国立国語研究所 体系研究部 第三研究室室長	虚構の言語	3/19~6/18
第5回	4月29日	上垣外憲一	国際日本文化研究 センター 助教授	日中の架け橋としての 朝鮮半島	2/25~7/14
第6回	5月6日	松本 鶴雄	群馬県立女子大学 文 学 部 教 授	小説と私小説	2/26~7/15
第7回	5月13日	神野藤昭夫	跡見学園女子大学 文 学 部 教 授	文学史として読む百人 一首	2/26~7/15
第8回	5月27日	日笠 完治	杏 林 大 学 社会科学部助教授	日本国憲法の基本原理	3/2~7/15
第9回	6月3日	佐々木史郎	大 阪 大 学 言語文化学部教授	絹と毛皮 -山丹貿易の実像	3/11~
第10回	6月10日	尾藤 正英	川村学園女子大学 文 学 部 教 授	思想を通じて見た 日本と中国との比較	3/28~7/15
第11回	6月17日	加藤 晴子	東京外国語大学他 非 常 勤 講 師	中国語の主語	3/15~

廣 告

3月26日(金)午後2:00より、本センター電教室において、客員研究員の第2回研究発表会が開催される。内容は袁方博士の「渋沢栄一の経済倫理想研究」及び周維宏講師の「日本東北地区戦後農村工業化初探」である。